

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日： 2022年 2月 24日

公表： 2022年 2月 25日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスじゃんぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		利用人数・状況により検討します。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・学習支援スタッフの増員で充実	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・段差の大きいところにスロープをつけている	状況に応じて検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・いつでも要望をいただけるように、『ご意見・ご要望箱』を設置している	今回の結果を改善に生かしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		今回の結果を改善に生かしていきます。また全利用者に結果を配布しホームページで公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		外部評価は実施していませんが今後検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	20%	80%	・打ち合わせ時等に、都度行っている	外部研修等についても積極的に参加できる体制を作っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		全職員の意見を踏まえて作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・保護者が受けたアセスメントツールを持ってきてくれており活用させていただいている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・月ごとに計画を立てている	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・公営の体育館なども活用している	長期休暇時などは縦割りグループを導入しながら、相互に成長できるような活動を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		適宜、個別・集団活動を組み合わせながら個々の支援内容に沿った支援を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		毎朝必ず行っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・活動後や翌日の打ち合わせなどに行っている	急を要す時は実施していますが、基本的には翌朝に行っています。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・写真や動画をよく取って活用している	写真や動画を基に検証しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		全職員の意見を取り入れています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	・現在該当者はいないが、連絡体制はできている	該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		保護者の意向を踏まえながら連携を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・これまでは該当者なし。	該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	40%	60%	・コロナ禍のため行っていない	今般の状況を踏まえ、今年度は控えています。今後も状況を確認しながら検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		相談しやすい環境づくりに気を配っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	送迎時や電話等で随時行っている	保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるように努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	40%	・保護者への配慮で不設置 ・相談ごとに応じ、保護者同士が繋がるように支援することがある	保護者への負担を避けるため保護者会の結成は行っていません。必要に応じて保護者同士の連携が図れるように努めています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		相談しやすい環境づくりに気を配っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月お便りを発行し、情報発信に努めている	日々の療育内容等をわかりやすく伝えられるように努めています。

	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40%	60%	・コロナ禍のため行っていない	今般の状況を踏まえ、今年度は控えています。今後も状況を確認しながら検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		定期的にマニュアルの読み合わせを行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・地震と火災を想定し、年2回行っている	避難訓練の際、事前にマニュアルの読み合わせを行ったうえで実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		現在まで実施例はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		職員相互で確認ができるように工夫しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		